

施工説明書兼取扱説明書

この度は、ハンスグローエ製品をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。
この説明書は保証書付きですので、お読みになりました後もすぐ取り出せる場所に
大切に保管してください。

サーモスタットバス・シャワー混合水栓 (ハンスグローエ タブレットシリーズ)

安全上の注意	2
製品別目次	5
施工方法	8

使い方	16
-----------	----

お手入れ	18
------------	----

故障かな？と思ったら	19
アフターサービス	21
保証書	裏表紙
お問合せ先	裏表紙

工事店様へのお願い

- 貴店名ならびに取付日を保証書にご記入の上、お客様にお渡しください。
取り付け後は、お客様にご使用方法及びお手入れ方法を十分にご説明ください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

安全上の注意

製品別目次

施工手順

使い方

お手入れ

こんな時は

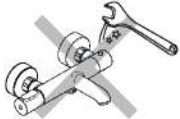
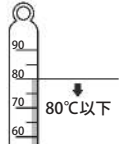
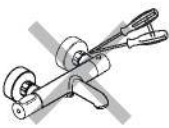
安全上の注意

- 施工前に、この「安全上の注意」を良くお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書兼取扱説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

記号の説明

 注意！	危険、注意
	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。
	禁止行為
	該当する行為が禁止行為であることを示しています。
	分解禁止
	該当する部品の分解が禁止行為であることを示しています。
	接触禁止
	該当する部品や部分に触れてはいけないことを示しています。
	指示（重要）
	該当する行為が記載されている指示に従って行われなければならないことを示しています。

必ずお守りください

 注意！	危険、注意 ご使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、下記の事項を厳守し、指示には必ず従ってください。
	禁止行為
	製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因になります。 
	80℃より高温で使用しないでください。水栓の寿命が短くなり、破損や、やけど、水漏れなどの損害発生のおそれがあります。 
	水栓の取り外し、再設置はしないでください。水栓を取り外したり、再設置を行う際には、修理技術者（取付業者）に依頼してください。  水栓本体の上に足を掛けたり、強い衝撃を与えないでください。破損や、水漏れなどの発生のおそれがあります。 
	分解禁止 決められた項目以外は、分解、改造しないでください。破損し、やけど、けが、水漏れなどの損害発生のおそれがあります。 
	接触禁止 高温のお湯を吐水時には吐水口に触れないでください。やけど、けがなどのおそれがあります。 
	指示（重要） 定期的に、配管周りを点検し、水漏れやがたつきがないか確認してください。製品に使われている部品の一部は、経年により劣化・摩耗するものがあります。 

技術仕様及び取付前のご注意

技術仕様

給水・給湯圧力	最低必要水压	(推奨) 0.15MPa (器具 1 次側、流動圧)
	最高水压	(推奨) 0.5MPa (器具 1 次側、静水压)
使用最高温度		(推奨) 65℃以下
使用可能水質		上水道
使用環境温度	一般地用	1 ~ 40℃
用途		一般住宅用 (屋内)
※詳細は各製品の承認図をご確認ください。		

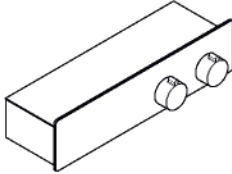
取付前に

- 製品の取付前に、給水、給湯管のごみを、完全に洗い流してください。配管内にごみが詰まったまま、製品を取りつけますと、製品内部にごみが詰まり、吐水不良や、製品不具合を引き起こすことがあります。
配管内の異物、ごみなどに起因する水栓の止水不良、吐水不良、サーモスタットの作動不良については、製品保証の対象外となります。
- 給水圧力が 0.5MPa を超える場合には、市販の減圧弁で 0.2 ~ 0.4MPa 程度に減圧してください。
- 電気温水器等と組み合わせる場合は、給湯圧力にご注意ください。給湯圧力が低いと、吐水量が不足し、水の勢いが十分に得られません。
- 給水・給湯は、ほぼ同圧にして供給してください。差圧が大きい場合、サーモスタット混合水栓に関しましては、サイクリング現象（吐水量が急に多くなったり、少なくなったり不安定になる事）、オーバーシュート現象（吐水温度が急に高くなったり低くなったり不安定にあること。）の原因となりますので、給水給湯供給差圧は最大 0.1MPa 以下としてください。特に電気温水器等をご使用時にはご注意ください。圧力差に起因する、サーモスタットの不良等の不具合については、製品保証の対象外となります。
- 梱包前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている可能性があります。製品には問題ありません。

製品別目次

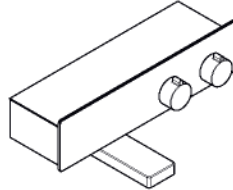
個々の製品の部品リスト / 部品図、施工完了図については、それぞれのページを参照ください。

シャワータブレットシャワーサーモスタット露出型
混合水栓 350



製品品番	13102xxx
部品リスト	P6
完成図	P6
施工手順	P8
(日本水道協会認証登録番号 C-279) (浸出対象外)	

シャワータブレット バスサーモスタット露出型
混合水栓 350 スパウト付

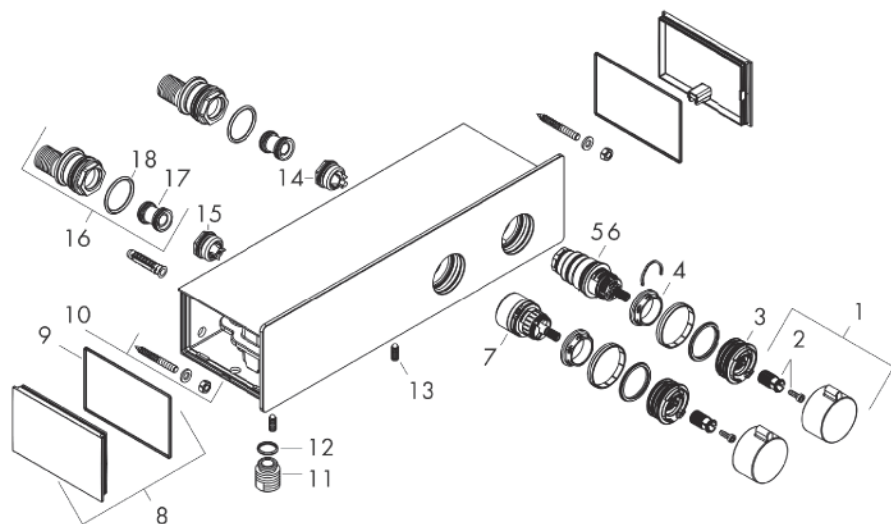


製品品番	13107xxx
部品リスト	P7
完成図	P7
施工手順	P8
(日本水道協会認証登録番号 C-279) (浸出対象外)	

部品図 / 部品リスト 完成図

製品品番：13102xxx

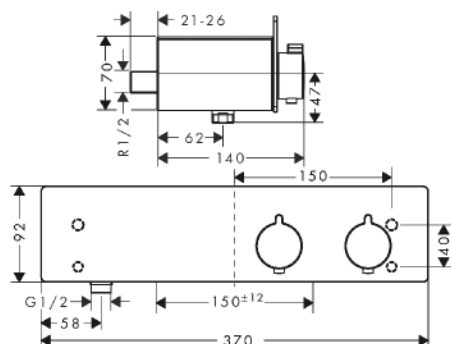
製品分解図



部品リスト

1	ハンドル	93227000
2	ハンドル固定セット	93228000
3	安全セット	93229000
4	ナット	98913000
5	サーモカートリッジ	98282000
6	接続変換カートリッジ	92373000
7	止水バルブ	95800000
8	カバー	93225000
9	O-リング (76 × 2.5)	98431000
10	取付キット	98744000
11	接続ネジ	95392000
12	O-リング (14 × 2)	98129000
13	ホーローセット M6 × 16 O-リング 29 × 3 付	98372000
14	逆止弁フィルター付	93224000
15	逆止弁 (耐圧は 2MPa まで)	93223000
16	偏心脚セット	95772000
17	ノイズリダクション	96429000
18	O-リング (29 × 3)	98371000

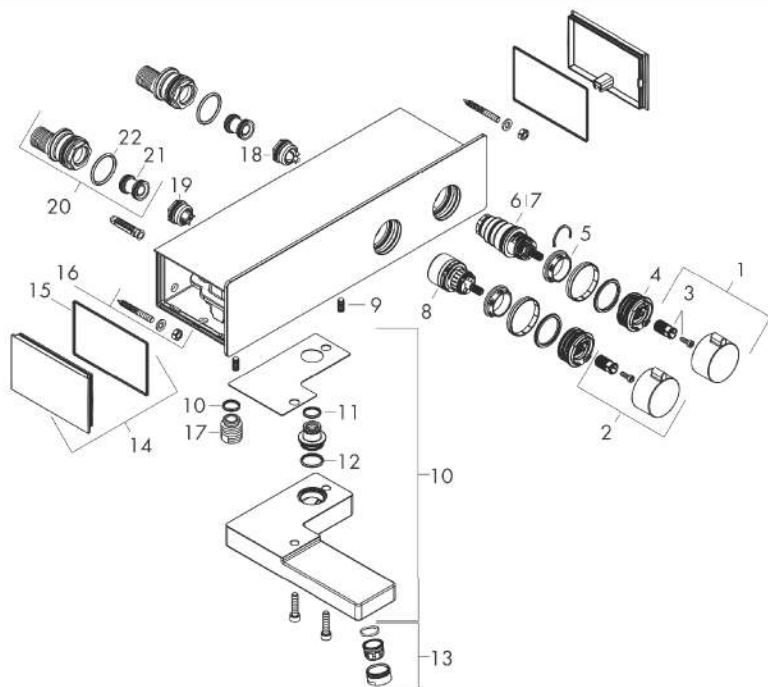
完成図



部品図 / 部品リスト 完成図

製品品番：13107xxx

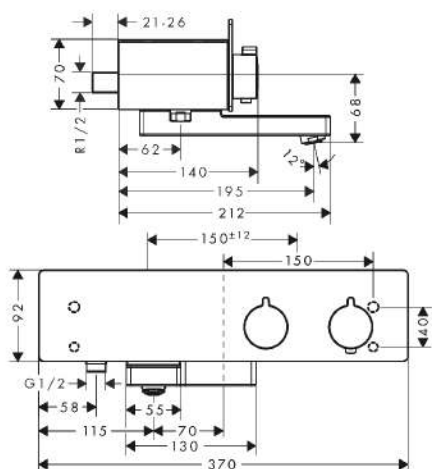
製品分解図



部品リスト

1	ハンドル	93227000
2	止水バルブ用ハンドル	93226000
3	ハンドル固定セット	93228000
4	安全セット	93229000
5	ナット	98913000
6	サーモカートリッジ	98282000
7	接続変換カートリッジ	92373000
8	止水# 切替バルブ	98283000
9	ホーローセット M6 × 16 O-リング 29 × 3 付	98372000
10	スパウトセット	93233000
11	O-リング (14 × 2)	98129000
12	O-リング (19 × 2)	98426000
13	エアレーター M24 × 1 (30 l/min)	96512000
14	カバー	93225000
15	O-リング (76 × 2.5)	98431000
16	取付キット	98744000
17	接続ネジ	95392000
18	逆止弁フィルター付	93224000
19	逆止弁 (耐圧は 2MPa まで)	93223000
20	偏芯脚セット	95772000
21	ノイズリダクション	96429000
22	O-リング (29 × 3)	98371000

完成図



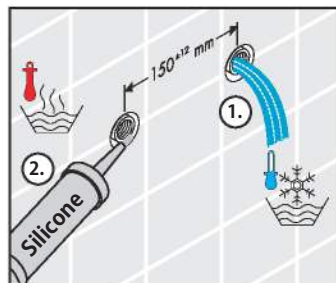
共通施工手順①②

製品品番：13102xxx、13107xxx

① 配管内（給水・給湯）の清掃

製品の取付前に、必ず、配管内（給水・給湯）のごみ、砂などを完全に洗い出してください。

その後、止水処理（コーキング等）を行ってください。配管内の異物、ごみなどに起因する水栓の止水不良、吐水不良、サーモスタットの作動不良については、製品保証の対象外となります。

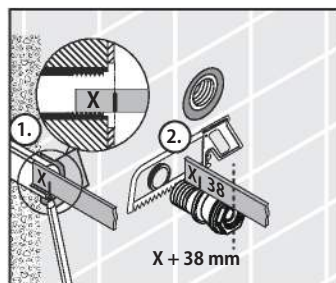


② 偏心管の取付

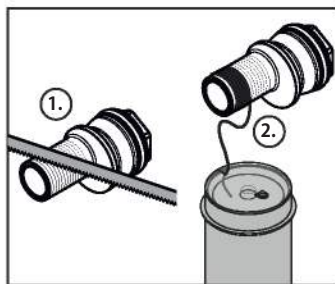
偏心管の間隔は、 $150 \pm 12\text{mm}$ です。

(1) 偏心管の長さを壁仕上面までのねじ込みしろ (X) プラス、壁仕上面より 38mm になるように調整してください。

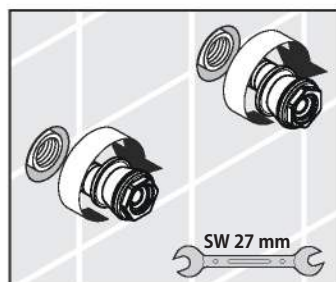
(偏心管の長さ = $X + 38\text{mm}$)



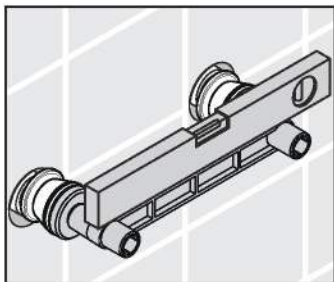
(2) 偏心管にシールテープを巻いてください。



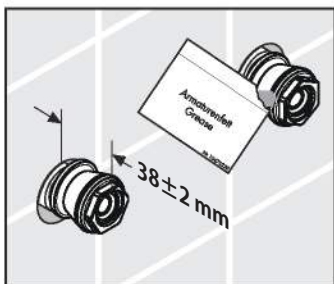
(3) スパナで偏心管を取付けてください。



- (4) 同梱の付属品プレートを使用して、偏心管の間隔と水平を確認してください。

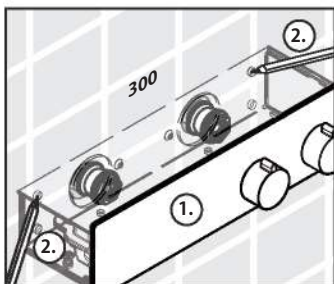
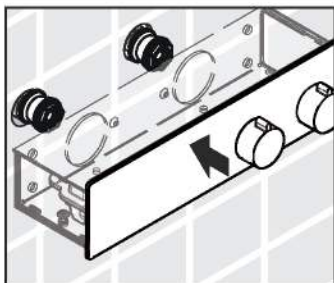


- (5) 製品本体が正しく取付けられなくなりますので、双方の偏心管の接続端部が壁仕上面から $38 \pm 2\text{mm}$ になるように調整してください。



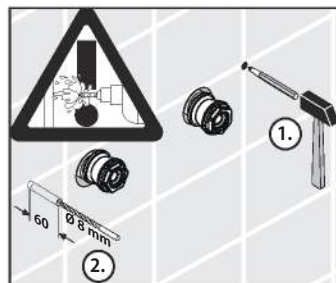
③ 水栓本体の取付

- (1) 水栓本体を偏心管に差し込み、本体裏部を使用して、本体取付ビス穴位置（左右）の寸法出しをしてください。

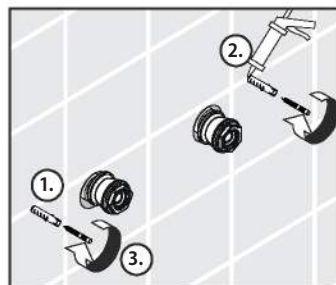


共通施工手順③

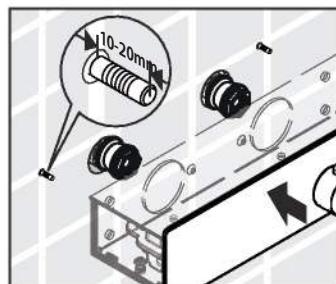
- (2) $\phi 8$ 、深さ 60mm の穴を開けてください。



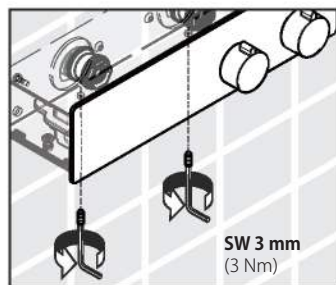
- (3) 水栓本体取付けボルトを取付けてください。



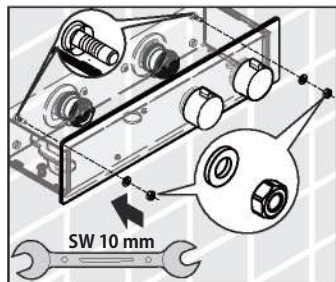
- (4) 取付けボルトの長さを壁仕上面より 10 ～ 20mm になるように調整してください。



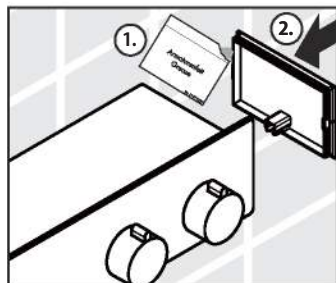
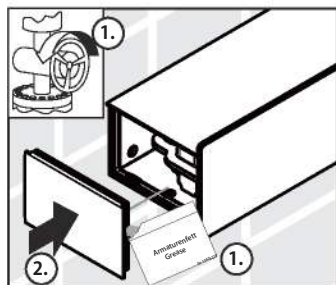
- (5) 水栓本体下部のビスを六角レンチで偏心管に締め込んでください。



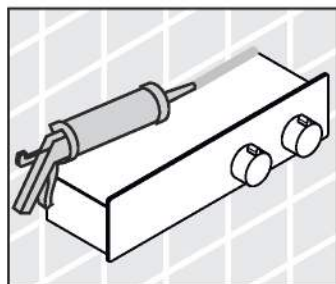
- (6) 水栓本体裏部のボルトにスパナでナットを取付けてください。



- (7) 両サイドのカバーをはめ込んでください。
Oリングにシリコンを塗布してください。



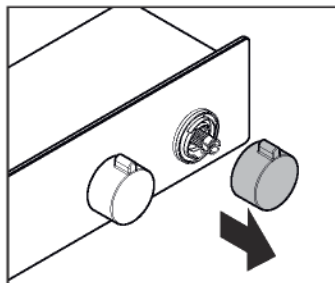
- (8) 水栓本体の周囲にコーキング等の止水処理を行ってください。



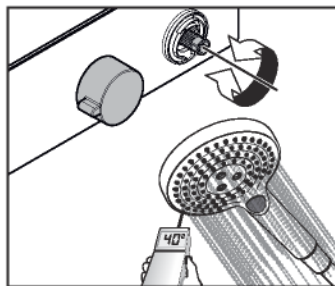
共通施工手順④

④ サーモスタット温度調整

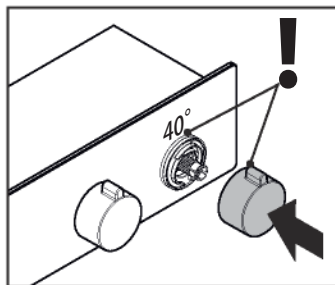
- (1) サーモスタットハンドルを引き抜いて取り外してください。



- (2) 吐水温度が 40℃ になるように、ハンドル固定軸を回して調整してください。



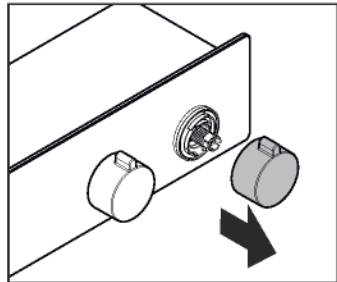
- (3) サーモスタットハンドルのレバー部が 40° の位置になるように取付けてください。



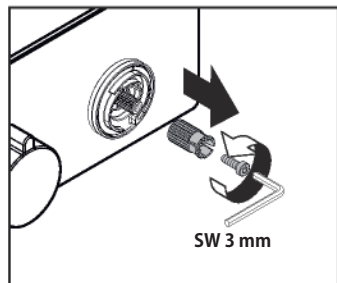
⑤ Safety Function（安全機能）の設定

この設定方法は、サーモスタットハンドルのセーフティボタンを解除して高温側に回しても設定温度を超えないようにする為の安全機能です。

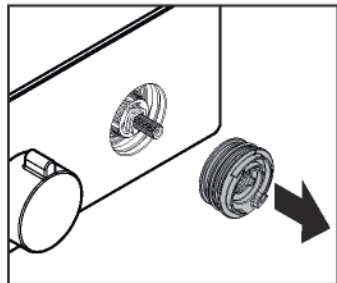
- (1) サーモスタットハンドルを引き抜いて取り外してください。



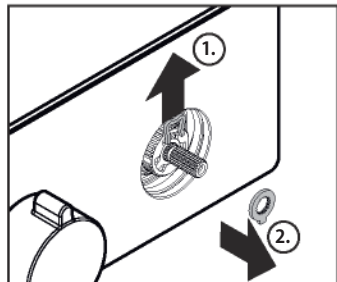
- (2) ハンドル固定軸を外してください。



- (3) 安全セットを外してください。

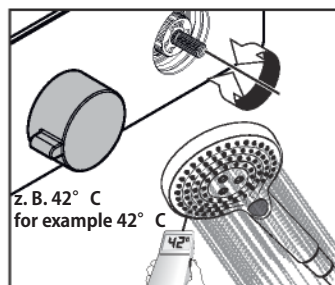


- (4) キー及び内歯形座金を取り外してください。

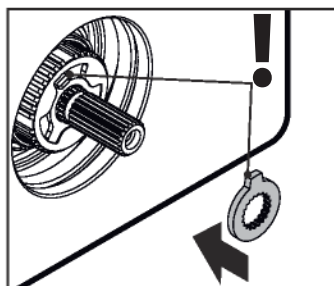


共通施工手順⑤

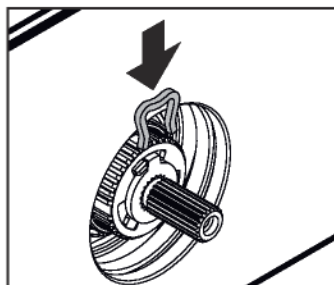
- (5) ハンドル固定軸を回して、最高出湯温度を設定してください。



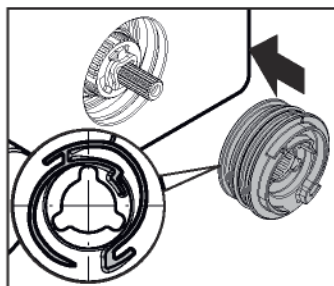
- (6) 内歯形座金を取付けてください。
内歯形座金の方向を確認ください。



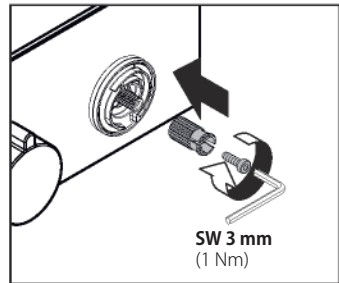
- (7) キーを取付けてください。



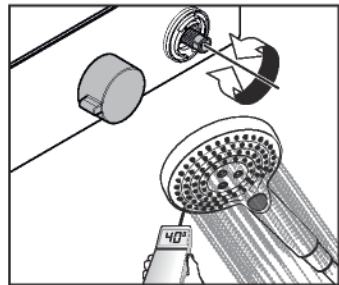
- (8) 安全セットを取付けてください。
右図のように方向を確認ください。



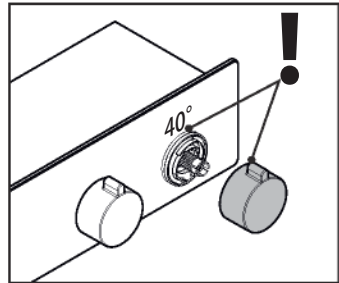
- (9) ハンドル固定軸を取付けてください。



- (10) ハンドル固定軸を回して、吐水温度が 40℃になるように調整してください。



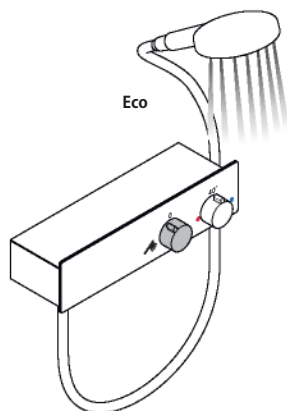
- (11) サーモスタットハンドルのレバー部分が 40° の位置になるように取付けてください。



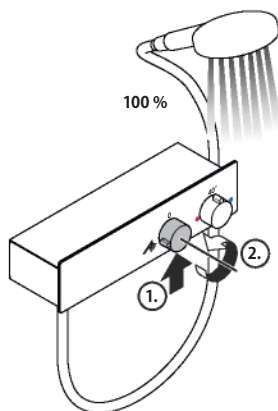
水（湯）を出す、止める

● 13102xxx

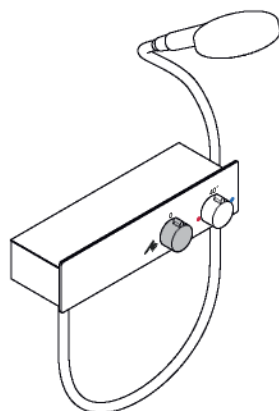
- ①左側のハンドルを左へ回すと水（湯）がでます。（エコ吐水）
- ②左側のハンドルをボタンを押しながら左へ回すと水（湯）がでます。（普通吐水）



エコ吐水



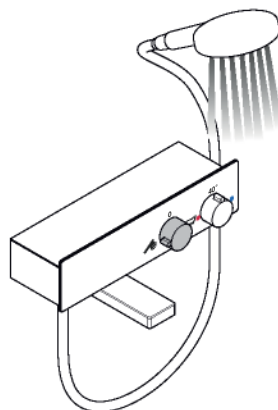
普通吐水



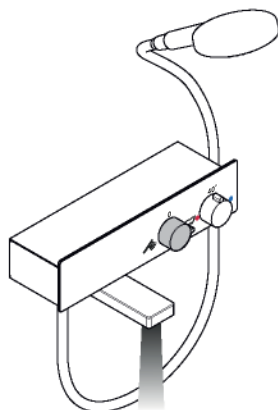
止水

● 13107xxx

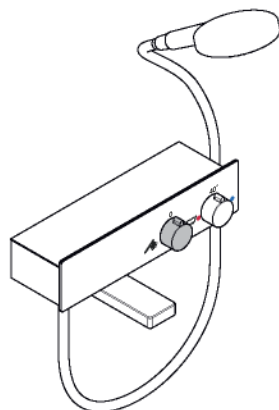
- ①シャワー吐水：左側のハンドルを左へ回すと水（湯）がでます。
- ②スパウト吐水：左側のハンドルを右へ回すと水（湯）がでます。



シャワー吐水



スパウト吐水



止水

温度調節のしかた

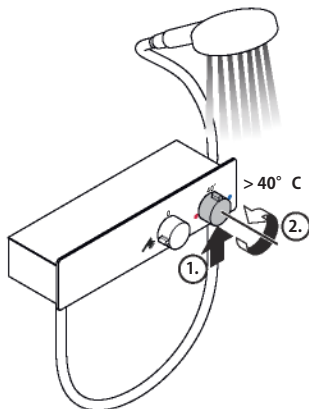
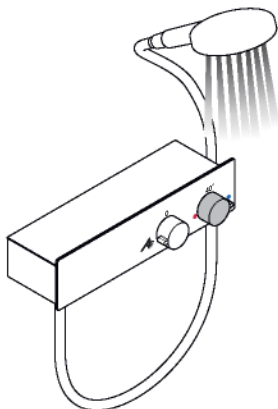
● 13102xxx

- ① 右側のハンドルを右に回すと温度を下げます。
- ② 右側のハンドルを左に回すと温度を上げます。



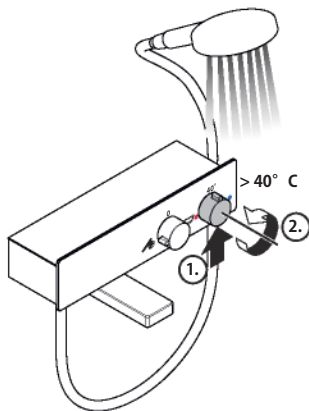
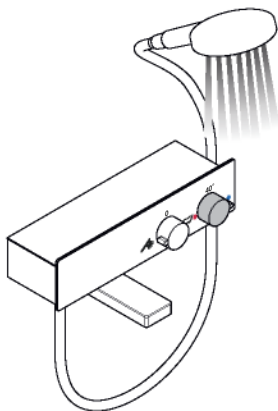
指示（重要）

40℃以上のお湯をご使用
になりたい時は、安全ボタ
ン（やけど防止）を押しな
がら回してください。



● 13107xxx

- ① 右側のハンドルを右に回すと温度を下げます。
- ② 右側のハンドルを左に回すと温度を上げます。



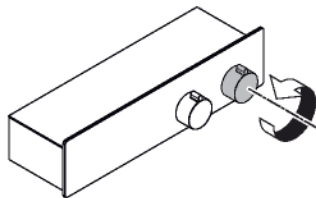
日頃のお手入れ



指示 (重要)

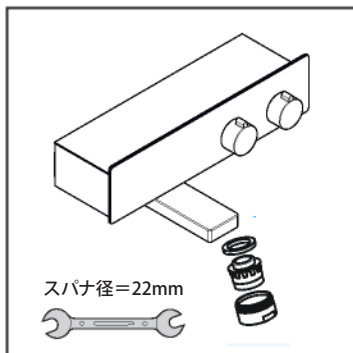
定期的に点検し、水漏れや、がたつきがないか確認してください。製品に使われている部品の一部は、経年により劣化・摩耗するものがあります。

ハンドルの動きが悪くならないよう、ときおり最高温側から最低温側へハンドルを回してください。(吐水の必要はありません)



エアレーターの清掃

1. エアレーターのキャップを 22mm のスパナで取り外し、網とパッキンを取り出します。
2. エアレーターと網を水洗いします。(汚れがひどい場合は、ブラシで汚れを落としてください。)



スパナ径=22mm

損傷や、器具の不具合を防ぐため、お手入れにあたっては、次の点にご注意ください。
不適切な取扱いによって発生した損傷は、製品保証の対象にはなりません。

- 酸性洗剤、塩素漂白剤を含有する洗剤はメッキを侵しますので、絶対に使用しないでください。
- 水栓の表面を傷つけるようなものは絶対に使用しないでください。
 - ・ クレンザーや磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤
 - ・ ナイロンたわし、たわし、ブラシなど
 - ・ 研磨剤、スポンジパッド、マイクロファイバー布、化学スポンジなど研磨を目的とした洗剤や用具
- スプレー洗剤を使用する場合、洗剤溶液を直接水栓に噴きつけず、やわらかい布やスポンジなどに噴きつけて使用してください。
- 洗剤を使ってお手入れをした後は、十分に洗い流し、水栓に付着している洗剤を残らず取り除いてください。

故障かな？と思ったら

次のような場合は、故障ではありません。
修理を依頼される前に、一度ご確認のうえ、
それでも直らない場合は、取付販売店、又
は弊社テクニカルカスタマーサービス、最
寄りの弊社アフターサービス会社まで連
絡ください。詳しくはアフターサービス
(P21) をご覧ください。



分解禁止

決められた項目以外は、分解、
改造しないでください。
破損し、やけど、けが、水漏
れなどの損害発生のおそれが
あります。

修理を依頼される前に

症状	ここをお調べください	処置の仕方
水が止まらない	吐水ハンドルは止水位置になっていま すか。	ハンドルを止水位置にしてください。
	吐水ハンドルがカルキ、ごみなどで汚 れていませんか。	カートリッジの清掃、または交換 が必要です。 修理を依頼してください。
水が出ない	止水栓は開いていますか。	止水栓を開き、流量の調整をして ください。
流量が少ない	止水栓は十分に開いていますか。	止水栓を開き、流量の調整をして ください。キャビネット内に保管 した物があたって、止水栓が動く ことがあります。
	給水圧が不足していませんか。	給水圧、給湯圧を製品の作動圧内 に調整してください。
水しか出ない	湯側の止水栓は開いていますか。	止水栓を開き、流量の調整をして ください。
	給湯器のスイッチは入っていますか。	給湯器の温度設定を確認し、十分 な湯量、湯温を確保してください。
湯しか出ない	水側の止水栓は開いていますか。	止水栓を開き、流量の調整をして ください。

故障かな？と思ったら

症状	ここをお調べください	処置の仕方
温度調節ができない	給湯器のスイッチは入っていますか。	給湯器の温度設定を確認し、十分な湯量、湯温を確保してください。給湯器の設定温度が低すぎる場合、ご希望の湯温が吐水口から出ない場合があります。
	サーモスタットカートリッジが故障している可能性があります。	サーモスタットカートリッジを交換してください。
安全ボタンが機能しない	カルキやごみで動きが悪くなっているか、バネが故障している可能性があります。	バネと安全ボタンを清掃、必要に応じて交換してください。
ハンドルの動きが悪い	ハンドルがカルキ、ごみなどで汚れていませんか。	カートリッジの清掃、または交換が必要です。修理を依頼してください。
ハンドルが重くなった	—	お使い始めに比べ、使用しているうちに、ハンドルが重く感じられるようになる場合があります。これは内部部品のなじみによるものであり、故障ではありません。

アフターサービス

保証書（この説明書の裏表紙が保証書になっています。）

- 製品は保証書の内容にしたがって保証されています。取付日、お客様名、取付店名が記入してあることを確認してください。
- 製品の保証期間は取付日から2年間です。

補修部品の供給期間

補修用部品の供給期間は、製品の製造中止から10年間です。

保証について

- 保証期間中は、規定にしたがい修理をさせていただきます。
保証期間内でも有償修理となる場合があります。
- 保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有償にて修理をさせていただきます。

消耗部品の交換

消耗部品（カートリッジ、パッキン等）が劣化すると、水漏れの原因となります。該当部品の交換により不具合は解消されます。

修理費用の内訳

修理費用は、出張作業費＋部品代＋部品手配費＋交通費で構成されています。

修理を依頼されるときは

- 修理依頼先
＜保証期間内＞
ハンスグローエジャパン(株) テクニカルカスタマーサービスまで（電話番号は裏表紙を参照ください）
＜保証期間外＞
お近くの弊社アフターサービス会社
（連絡先は弊社ホームページをご覧ください。 <http://www.hansgrohe.co.jp>）
または、ハンスグローエジャパン(株) テクニカルカスタマーサービスまで（電話番号は裏表紙を参照ください）
- ご連絡いただきたい内容
 1. 品番（8桁）
 2. 品名
 3. 取付け年数
 4. 不具合の状況
 5. 住所、氏名、電話番号

ご不明な点がございましたら、ハンスグローエジャパン(株) テクニカルカスタマーサービスまで（電話番号は裏表紙を参照ください）お問い合わせください。

MEMO

MEMO

ハンスグローエ ジャパン株式会社

TEL: 03-5715-3054 URL: <http://www.hansgrohe.co.jp>